

2012年度 第1四半期決算

2012年7月27日

富士電機株式会社

2012年度 第1四半期業績

2012年度第1四半期 連結業績概要

営業損益は、売上高の増加および事業構造改革の効果などにより前年同期に対し改善

(単位:億円)

	2011年度 Q1実績	2012年度 Q1実績	増減
売上高	1,401	1,467	66
営業損益	-55	-30	25
経常損益	-71	-39	32
特別損益	-37	-7	30
法人税等	-59	-13	45
少数株主損益	4	1	-3
四半期純損益	-54	-34	20

平均為替レート US\$	¥81.74	¥80.20	¥-1.54
平均為替レート EURO	¥117.40	¥102.91	¥-14.49

営業損益増減

コストダウン	+32	価格ダウン	-26
物量増、他	+11	為替影響	-2
固定費減	+10		
	+53		-28

営業外損益増減

金融収支	+5	(-1→ +4)
持分法投資損益	+3	(-9→ -7)
為替差損益	0	(-7→ -7)
その他	0	(+1→ +1)

特別損益増減

生産拠点等統合費用	+24	(-24→ +0)
投資有価証券評価損	-4	(-1→ -5)
その他	+10	(-12→ -2)

2012年度第1四半期 セグメント別売上高・営業損益

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2011年度 Q1実績	2012年度 Q1実績	増減	2011年度 Q1実績	2012年度 Q1実績	増減
発電・社会インフラ	215	243	28	-10	-3	7
産業インフラ	179	225	46	-10	-10	-0
パワエレ機器	355	311	-44	9	-3	-12

▶発電・社会インフラ

売上高は、発電プラント分野における火力の海外向け大口案件の売上計上、社会インフラ分野における(株)日本AEパワーシステムズから事業継承した変電・配電事業および放射線計測機器の需要増により前年同期を上回る。営業損益は増収効果および原価低減により前年同期を上回る。

▶産業インフラ

売上高は、産業プラント分野において国内向けの堅調な需要、アジアにおけるエンジニアリング拠点の拡充の取り組み強化により前年同期を上回る。ファシリティ分野においても海外向け大口案件の増加により、前年同期を上回る。営業損益は、円高の状況下で欧米各社との価格競争が激化し、前年同期と同水準となる。

▶パワエレ機器

売上高は、ドライブ分野における中国での需要低迷および国内での顧客の在庫調整により前年同期を下回る。パワーサプライ分野は、サーバ向け等の需要減により前年同期を下回る。器具分野は国内およびアジアでの需要減により前年同期を下回る。営業損益は売上高の減少により、前年同期を下回る。

2012年度第1四半期 セグメント別売上高・営業損益

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2011年度 Q1実績	2012年度 Q1実績	増減	2011年度 Q1実績	2012年度 Q1実績	増減
電子デバイス	292	259	-32	-14	-16	-1
食品流通	253	288	36	-16	11	27
その他	228	251	23	-3	0	3
消去または全社	-121	-110	11	-11	-10	1
合計	1,401	1,467	66	-55	-30	25

▶電子デバイス

半導体分野は、自動車分野で需要が増加したものの、産業分野、情報電源分野において需要が減少し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回る。

ディスク媒体分野は、販売価格の低下により売上高は前年同期を下回るが、営業損益は事業構造改革の効果により、前年同期を上回る。

▶食品流通

売上高は、自販機分野における省エネ型環境対応自販機への置換需要、店舗流通分野におけるコンビニエンスストア向け新規・改装物件の増加および自動釣銭機の大口置換需要により、前年同期を上回る。営業損益は増収効果、事業構造改革の効果により、前年同期を上回る。

2012年度第1四半期末 連結貸借対照表

(単位: 億円)

資産の部		12/3/31	12/6/30	増減
現金及び預金		643	532	-111
売上債権		1,997	1,683	-314
棚卸資産		1,333	1,503	170
その他		559	717	158
流動資産 計		4,532	4,434	-98
有形固定資産		1,584	1,666	82
無形固定資産		112	112	0
投資その他の資産		1,699	1,513	-186
固定資産 計		3,395	3,292	-103
繰延資産		1	2	1
資産 合計		7,928	7,728	-200

負債、純資産の部		12/3/31	12/6/30	増減
買入債務		1,365	1,257	-108
金融債務		2,559	2,524	-35
その他負債		2,173	2,242	69
負債 合計		6,096	6,022	-74
資本金		476	476	—
資本剰余金		467	467	—
利益剰余金		634	593	-41
自己株式		-71	-71	-0
株主資本		1,506	1,465	-41
その他の包括利益累計額		129	52	-78
少数株主持分		196	189	-8
純資産 合計		1,832	1,706	-126
負債・純資産 合計		7,928	7,728	-200
自己資本比率(%)		20.6	19.6	-1.0
ネット金融債務残高		1,916	1,993	77
ネットD/Eレシオ(倍)		1.2	1.3	0.1

2012年度 上期・通期業績予想

2012年度上期 連結業績予想(4/26発表値から変更なし)

(単位:億円)

	2011年度 上期業績	2012年度 上期予想	増減
売上高	3,053	3,400	347
営業損益	-56	-55	1
経常損益	-98	-80	18
当期純損益	-54	-80	-26
平均為替レートUS\$	¥79.82	¥80.10	¥0.28
平均為替レートEURO	¥113.79	¥103.96	¥-9.83

第2四半期の前提為替レート

*営業損益ベース

	US\$	EURO
前提為替レート	¥80.00	¥105.00
1円影響*(億円)	0.7	0.2

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2011年度 上期実績	2012年度 上期予想	増減	2011年度 上期実績	2012年度 上期予想	増減
発電・社会インフラ	525	850	325	-11	-10	1
産業インフラ	430	500	70	-10	-5	5
パワエレ機器	707	700	-7	12	0	-12
電子デバイス	586	560	-26	-6	-20	-14
食品流通	546	510	-36	-16	10	26
その他	507	545	38	2	0	-2
消去または全社	-247	-265	-18	-26	-30	-4
合計	3,053	3,400	347	-56	-55	1

2012年度通期 連結業績予想(4/26発表値から変更なし)

(単位: 億円)

	2011年度 通期実績	2012年度 通期予想	増減
売上高	7,035	7,500	465
営業損益	193	230	37
経常損益	186	220	34
当期純損益	118	130	12

	US\$	EURO
前提為替レート	¥ 80.00	¥ 105.00
1円影響*(億円)	2.7	0.6

※第2四半期～第4四半期

(単位: 億円)

	売上高			営業損益		
	2011年度 通期実績	2012年度 通期予想	増減	2011年度 通期実績	2012年度 通期予想	増減
発電・社会インフラ	1,566	1,931	365	120	95	-25
産業インフラ	1,105	1,110	5	44	55	11
パワーエレクトロニクス	1,508	1,587	79	38	59	21
電子デバイス	1,122	1,276	154	-2	40	42
食品流通	1,155	1,054	-101	23	35	12
その他	1,126	1,132	6	26	20	-6
消去または全社	-547	-590	-43	-56	-74	-18
合計	7,035	7,500	465	193	230	37

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。